

令和三年度成蹊大学大学院文学研究科 第二七回日本文学専攻研究集会の開催につきまして

本年 7月31日(土)に開催を予定しております成蹊大学大学院第27回日本文学専攻研究集会ですが、COVID-19の感染状況等を踏まえ、本専攻にて慎重に協議・検討を重ねました結果、通常の集会形式での開催は中止とし、**オンライン形式にて開催することを決定**しましたので御案内いたします。

開催形式の変更に伴い、**本研究集会への参加は完全申込制**といたしますので、参加を御希望の方は下記要領にてお申し込みいただけますようお願い申し上げます。

内容に関しては可能な限り当初の予定を踏襲して開催するよう準備を進めておりますが、前例のないオンライン開催となりますので、参加予定の皆様、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご不便をおかけすることをお詫び致します。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

参加方法の概要について

【参加申込方法】

参加を御希望の方は下記URLまたはQRコードよりお申込ください。

参加申込が完了致しますと御提示いただいたメールアドレス宛に参加方法等を記載したメールが自動返信にて配信されますので、御確認いただきますようお願い申し上げます。

参加申込フォームURL : <https://forms.office.com/r/07mymkhzhj>

※本研究集会にオンラインで参加するにはZoom（アプリケーションソフトウェア）が必要となります。お手数ですが、参加を御希望の方はZoomが使用可能なデバイスを御準備ください。また、Zoomの使用方法等につきましてはインターネット等にて御確認ください。

※発表資料については参加申込の際に御提示いただくメールアドレス宛に詳細等を記載いたしますので、御確認ください。



※御不明な点等がある場合には下記問い合わせ先まで御連絡ください。

第二十七回日本文学専攻研究集会

令和三年七月三十一日(土) 一三時～一七時
於成蹊大学五号館一〇二教室

【研究発表】

一三〇〇～一三〇五

太宰治 「思ひ出」論

——志賀直哉 「大津順吉」との比較を軸に——

石田 創太郎 (博士前期課程二年)

一四〇〇～一四〇五

川端康成 「みづうみ」論

——〈主体性〉について——

何 雨峰 (博士前期課程二年)

一五〇〇～一五〇五

近現代日本の叙事詩

——題材について——

杉田 将一 (博士前期課程二年)

一六〇〇～一六〇五

「見えないもの」としての病

——三遊亭圓朝 「怪談乳房榎」——

大橋 崇行 (文学部准教授)

おおはし・たかゆき／成蹊大学文学部准教授。博士(文学)。専攻は日本近現代文学(明治文学、現代日本のポップカルチャー)。著書に『言語と思想の言説(ディスコース)』(笠間書院)、『中高生のための本の読み方』(ひつじ書房)などがある。

閉会の挨拶 平野 多恵 (日本文学専攻主任)

※感染防止のため、マスクを着用し、社会的距離をとるようお願いいたします。そのほか、スタッフの指示に従ってください。
※本年度は、飲食をともなう懇親会は企画しておりません。休憩時間などをご利用してご歓談ください。
※緊急事態宣言の発令等により、対面での開催が困難になった場合は、オンライン開催に変更の予定です。その際は、成蹊大学のホームページ(<https://www.seikei.ac.jp/university/>)の「News & Topics」等でご告知します。